

かわさきの新たなランドマーク

川崎市内を一望できる展望ロビー・スカイデッキを公開



新庁舎は、震災対応にも優れ、大規模災害時にも市民への情報発信、生活再建・復興の中枢拠点として役割を担います。



北東方面には、六郷河川敷や新宿に東京都庁、羽田空港の航空機離発着、東京タワーやスカイツリーなどが一望できます。



南東方向には、横浜ランドマークタワーやベイブリッジ、つばさ橋、また天気の良い日には富士山を一望することができます。

1938年に竣工した川崎市庁舎は、75年の歴史に幕を閉じ、新たに地上25階、地下2階、高さ約117mの新庁舎が誕生。

新庁舎25階には、地上110mの高さから市内を一望できる『展望ロビー・スカイデッキ』が設置され、市内は勿論、東京都内、羽田空港やスカイツリー、横浜ベイブリッジから富士山に至るまで眺望が楽しめます。どなたでも利用でき、入場無料。

【展望ロビー公開時間】
午前9時～午後9時まで
(土日祝日含む)

※設備点検や悪天候時には展望フロアを閉鎖することがあります。

市民代表の議員が熱い議論を展開する議場



議員席後方の傍聴席は、100名が議会の進行を見ることができます。また、親子席が設けられ、小さいお子さんと一緒に安心して議会をご覧いただけます。



議場内「演壇」からの風景。代表質問や討論などおこなう時に使用されます。議場や委員会室では、市民生活に直結する様々な課題を活発に議論されています。

新庁舎23階・24階部分にある市議会議場は、各区選出の議員60人が市民の代表として、活発に論戦が繰り広げられています。

新議場では、新たに採決における押しボタン方式を採用し、大型スクリーンに各議員の賛否が色分けして表示されるなど、採決態度が鮮明になりました。

傍聴の流れ【動画】



「議会かわさき」広報キャラクターのおよんが川崎市議会の傍聴の流れをご紹介します。

議会中継



開催中の会議および過去の会議をご覧になれます。

会議録検索システム



川崎市議会の本会議・委員会等の全発言を対象に言葉で検索できます。

発行者 川崎市川崎区宮本町1 川崎市議会議員 飯田満

川崎市議会報告



ぜいじのみかた

2025年 vol.5



特集 PCB（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物適正処理に向け
高砂市役所・高砂西港盛立地及び兵庫県を訪問

川崎市議会議員
環境委員会 委員

みつる
飯田 満



Profile

PCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物適正処理に向け 高砂市役所・高砂西港盛立地及び兵庫県を訪問

7月22日、23日に兵庫県高砂市及び兵庫県庁を訪問し、同自治体が事業終了準備期間までに、高濃度PCB廃棄物を適正に処理してきた手法や実績、管理方法等について説明を受け、同市県と意見交換をしてきました。

PCB汚染土が約5ha、 5mの高さに積まれた 高砂西港盛立地を視察

昭和43年に発生した日本最大の食品公害事件「カネミ油症事件」の原因物質であるPCB（ポリ塩化ビフェニル）は、その多くを鐘淵化学工業株式会社（現：株式会社カネカ）が製造販売を手掛け、圧倒的なシェアを占めていた。

当初、PCBは無毒と考えられ、毒性や環境リスクが明確でなかった段階では、製造そのものは違法と捉えられていなかった。しかし、1960年代後半から環境残留性、生物蓄積性、毒性が国内外で問題視されはじめ、カネミ油症事件をきっかけに、PCBが国際的にも毒性が高い化学物質であることが確認され、国内法において、高濃度PCBの製造、設置の禁止や特別措置法における高濃度PCBである安定器など、期限内の適正処理が保管事業者及び所有事業者に課されることとなった。

東播磨港高砂地区高砂西岸壁に面する港に、広さ約5ヘクタール、高さ5mにもなる盛り立てられた高砂西港盛立地が存在する。なぜこの地にPCBに汚染された土砂が盛り立てられることとなったのか、高砂市役所職員の協力を得て、現地を視察させていただいた。

前述したとおり、PCBはその多くが鐘淵化学工業株式会社（現：株式会社カネカ）が製造していた。同地に鐘淵化学工業の広大な工場が存在し、昭和40年



高砂西港盛立地に隣接して兵庫県が設置した高砂みなとの丘公園

代に西港海底からPCB汚染土砂が確認されると海洋生物にも影響が出るなど、漁業関係者へも影響を及ぼした。このため、港湾の底質土砂を浚渫し、汚染された土砂を陸に揚げ、セメント固化処理した後に約5ヘクタール、高さ5mの人口盛立地が造成された。盛立地の上部にはアスファルトが施され、現在ではその上に太陽光パネルが設置されている。



高濃度PCBに汚染された土壌が集積された盛立地

この盛立地が立地する高砂市は、平成18年に兵庫県に対し、盛立地のあり方を検討するための専門家委員会の設置を依頼し、同年に「高砂西港盛立地のPCB汚染土に係る技術検討専門委員会」が設置され、委員会は「盛立土本体の安全性に影響を与えるものではない」との結果、報告書を提出している。現在、盛立地周囲は兵庫県が「高砂みなとの丘公園」として整備し、隣接する盛立地がPCBに汚染された土砂による堆積した物とは一見想像もできないように整備されている。



東播磨港高砂地区に立地する株式会社カネカの高砂工場

兵庫県とPCB廃棄物適正処理等について意見交換 (仮称)高濃度PCB廃棄物保管計画策定に「必要な対応を検討」

平成13年に「PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」が施行され、同廃棄物処理基本計画によって高濃度PCBを無害化処理できる施設として、全国5か所に設置され、その処理施設の事業主体は中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）である。

高濃度PCB廃棄物を処理するJESCOの処分場は、北九州・大阪・豊田・東京・北海道の5施設。北海道を除く4施設は既に事業終了準備期間（施設の稼働停止）を迎え、北九州処理施設においては施設の解体作業が進んでいる状況にある。残る北海道処理施設（室蘭市）は、令和8年3月31日をもって施設の稼働が停止されることから、同処理施設で高濃度PCBを処理している関東・東北・北海道エリアの事業者は高濃度PCBの適正処理が急がれる。

しかし、国が廃棄物基本計画で示しているように、国内には未だ相当数のPCB廃棄物やPCB廃棄物使

用製品が残されている。川崎市においては、行政施設から今なお新たな高濃度PCBが発見されている。

しかも、法律上、明らかに違法とされる昭和52年以降に建築された行政施設から高濃度PCBである安定器が発見されるなど、法律で定められた事業終了準備期間内に完全処理ができるのか、厳しい情勢であることは間違いない。

既に、事業終了準備期間を迎えた兵庫県の担当者と以下、意見交換をおこなった。



兵庫県庁

高濃度PCB廃棄物適正処理について意見交換会

飯田満 高濃度PCBの掘り起こし調査における職員体制と主な取り組み方法を教えてほしい。

県担当 掘起し調査を含め、PCB特別措置法の兵庫県における職員体制は、本庁環境整備課4名、7つの県民局に各2名の職員で、1万5千事業者にアンケート調査を実施。未回答事業者を訪問するなど、掘起し調査を実施した。

飯田満 事業終了準備期間以降に行政施設から高濃度PCBが新たに発見された事例があれば教えて頂きたい。また、発見された局に対する指導方法については。

県担当 県有施設からの発見には至っていないが、県内市町村からの少量の高濃度PCB廃棄物が発見された事例があった。JESCO大阪事業所の処分期間終了後の発見だったため、北海道事業所への搬入まで保管基準を順守させ、他に残留物が無いか、念入りに再度確認するよう指導した。

飯田満 PCB廃棄物処理基本計画では、掘起し調査の調査対象が昭和52年3月以前に建設された建物とされているが、調査対象以降に建築された建物から高濃度PCBが発見された事例があれば教えてほしい。

担当 昭和52年3月以降に建設された建物から高濃度PCB廃棄物が発見された事例として、一般居住用マンションの電気室から発見されたコンデンサーが存在した事例が過去にあった。

飯田満 その後、調査対象外の施設に対する掘起し調査

の有無についてはどのようにされたのか。

県職員 掘起し調査については、環境省が作成した「掘起し調査マニュアル」に即して実施したため、兵庫県で独自に調査対象「外」の建築物に対して調査を実施しなかった。

飯田満 北海道JESCO処理施設は、令和8年3月31日で事業終了準備期間を終えて、処理施設は閉鎖される。処理施設の稼働停止後の高濃度PCBの処理施設について環境省又は中間貯蔵・環境安全事業株式会社から新たな施設に関する情報について知っていたら教えて頂きたい。

県職員 JESCO事業終了後に、高濃度PCB廃棄物を処分する方法については、現在、中央環境審議会循環型社会部会廃棄物処理制度小委員会で議論されており、既存の無害化認定処理施設を活用した処理方法が検討されている。

